

令和元年度進路実績

令和元年度 3年生 進路合格者数・決定者数

合格者数

令和2年1月20日現在

	国立大	公立大	私立大	公立短大	私立短大	専門学校	進学計	就職	公務員	合計
指定推薦			24	2	0	21	47			47
公募推薦	0	7	11	0	11	23	52	40		92
AO	0	0	10	0	4	19	33			33
一般	0	0	0	0	0	5	5	3	6	14
S利用			0	0	0	0	0			0
合計	0	7	45	2	15	68	137	43	6	186

「令和元年度進路状況」

進路指導主事 伊藤 悟

就職は各企業から多くの求人を頂くとともに生徒たちの努力で、今年度も就職率100%を達成した。特に公務員は消防、山梨県警に加え、2年連続で山梨県職員、市役所に3名の生徒が内定を勝ち取った。

進学は、来年度から大学入試制度が大きく変わる過渡期の中、台風の影響で入試日程・オープンキャンパス等が延期・中止になるなどの困難を乗り越え、公立大学に6名が合格の結果を残した。これから一般入試を受ける生徒たちの健闘を祈っている。

最後に全校体制で生徒の受験指導にあたって頂いた先生方にお礼を申し上げます。

スケート部の活動

「最高のシーズンにするために」

スケート部部長 3年4組 佐藤 天海

私達スケート部は、部員全員が高い向上心を持って日々練習しています。3ヶ月間の氷上シーズンのために9ヶ月間陸上トレーニングをしています。陸上トレーニング期間は成果が見えにくく、モチベーションの維持が大変なこともあります。冬に最高の結果を残すことを信じて、全力でやりきりました。氷上に入ってから是一日一日が勝負だと自分に言い聞かせ、集中してトレーニングを行っています。

今シーズンは県内の大会を終え、年末まで合宿を行い、残すはインターハイと国体、関東大会となりました。夏場から妥協を許さずやってきた自分達を信じて、日々支えてくれる家族やご指導いただいている千葉先生への感謝の気持ちを持って滑り切りしたいと思います。



〒408-0023 山梨県北杜市長坂町渋沢1007-19

TEL 0551-20-4025 FAX 0551-32-3194 URL <http://hokutoh.kai.ed.jp>

News and Magazine of HOKUTO High School

令和2年3月1日発行
第52号

杜をわたる風

ようこそ北の杜へ

ここは夢が育つ場所

第1回 日中観光代表者フォーラム オープニングアトラクション（書道部 12月4日）

「変わらぬもの、変えなくてはならないもの」

校長 宮下 誉夫

朝な夕なに校長室の窓からプラタナスやユリノキとともに様々な光景を眺めてきたが、それも残り僅かになった。本校のシンボルツリーであるプラタナスやユリノキは、旧峡北農業高校の時代から、生徒達を見守るかのようにそびえている。

もう一つ変わらぬものがある。それは校歌である。旧峡北農業高校の校歌の一節を変えて今も歌い継がれている。一番の歌詞にある「登天門か八ヶ岳」、二番の「月西山の雪に輝る」、三番の「希望は高く大いなれ」が、私の好きな歌詞だ。特に「希望は高く大いなれ」は、学習や部活動、それぞれの進路や日常生活全てに向けた大事なメッセージだと思っている。

今年度は教育目標をリニューアルし、学校経営方針や目指す学校像を明確に内外に示した。グランドデザインも作成した。本校の魅力を「見える化」する開校19年目の挑戦である。だが、形だけを変えても中身が伴わなければならない。生徒が社会で自己実現していくための力にならなくては何の意味もない。校歌にも歌われる八ヶ岳や甲斐駒ヶ岳は、今もなお地域を象徴する山であり、人々から愛される存在である。これらの山のように地域に愛される、地域に溶け込んだ学校づくりを目指している。まだまだ途半ばであるが、峡北地域の中核校となる学校にしていきたい。



Step Up Jump

未来にむけた3年間



「財産」

3年2組 深澤 佳織

私は3年間、1番に勉強に取り組んだ。勉強が苦手だった中学時代から変わろうと決心したからだ。はじめは何をすればいいのかわからず苦労したが、要領が悪いなりに努力した。11回の定期試験を通して、私は600ページを超えるテストノートを作成した。

周囲からの期待がプレッシャーになり、半泣きで机に向かったこともあった。しかし、この期待がまた私を鼓舞してくれるものでもあった。私が掴んだ定期試験で3年間上位3位以内という結果は、決して私1人の力で達成できたことではない。たくさんの支えや励ましをくれる人達がいたからだ。今では、良い成績が残せたことより、こうした素敵な人達に出会えたことが何よりの財産だったと強く感じている。

3年間ありがとうございました。

「感謝」

3年5組 檀 宏隆

私の高校生活3年間は、たくさんの人に支えられ成長することができた実感できるものだった。

私はサッカー部に所属している。1年生の頃は怪我が多く、試合に出る機会もなかった。苦しかったが、いつも応援してくれる両親やチームの仲間に支えられ、筋トレなど自分ができる努力を続けた。3年生でスタメンとして試合にでられるようになり、サッカーだけでなく学校生活すべてにおいて活躍できる人になろうと心に決めた。自分一人ではここまで成長することはできなかったと思う。

これまでお世話になった先生方、先輩、後輩、仲間、ありがとうございました。そして一番近くで見守ってくれた家族にこれから恩返しができるような大人になりたい。



北杜の特色ある授業

北杜 Style



「農業でつながる」

3年1組 鈴木 美悠

グリーンライフの授業で、武川小学校の1、2年生との交流会を2回行いました。春はサツマイモ苗の植え付けとポップコーンの種まきをし、秋はサツマイモの収穫とポップコーンを作りました。小学生に収穫から調理まで体験してもらい、農業の楽しさを知ってもらうために、私たちのもつ知識や技術を最大限に生かすことができたと思います。偽りのない小学生の言動や表情、反応などから、本当に楽しいと思っていただけていることがわかりました。小学生に農業の魅力が伝えられたことはもちろん、教える立場になったことで、今まで気づかなかったことに気づき、自分自身の成長にもつながることができました。普段、あまり関わることもない小学生と高校生が、農業を通してつながることにより、農業に秘められた可能性の広さを感じました。

「ICTを利用した授業」

2年4組 三枝 英之

市川久先生の世界史の授業は、先生が2台のプロジェクターで映し出した授業プリントや世界史の資料集の画面を見ながら行っています。事前に配布された授業プリントの空欄部分の説明を先生が行い、語句を自分でプリントに書きます。空欄部分は基本的に重要箇所になっていて、後々振り返りを行う時に分かりやすいです。他にも授業に関連した映像を鑑賞したり、単元毎にclassiを用いた小テストを行います。映像を用いることで授業での知識を、表面的なものから本質的なものに変換することができます。小テストでは自分自身で把握していない苦手箇所、不明確な箇所を確認することができます。

